

2019 年 4 月

関係者各位

日本学生トライアスロン連合
2019 年度学生委員長 浦上 壮太郎

2019 年度インカレ出場枠訂正について

2019 年 3 月に行われた学生総会において、日本学生トライアスロン選手権（以下、インカレ）の出場枠を求める際に使用する計算方式の変更が確定致しました。今年度のインカレ枠は、各地域の学連登録者数に基づいて計算を行い、各地域の競技人数を考慮してインカレ枠を確定させることになりました。しかしながら、確定した計算式を用いて計算をし、枠数を皆様にご報告致しましたが、計算途中の過程に不備があり、もう一度計算し直しました。今回、訂正版として出させて頂くものが、今年度のインカレ枠の各地域への配分となります。この度は、このような事態になってしまった事深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。新しく計算し直した結果は、下記のようになります。

若干の変更点がございりますが、こちらに関するご意見は、誠に勝手ながらお受けいたしかねます。ご理解の程、宜しくお願い致します。

2019年度 日本トライアスロン学生選手権 出場資格について

以下3通りの方法

- ・地域予選からの出場
- ・シード権を使つての出場
- ・代替予選からの出場

	男子	女子
北海道	3(±0)	1(±0)
東北	11(-1)	1(-1)
関東	85(+2)	29(-1)
東海北陸	12(-3)	7(+3)
近畿	23(+3)	6(-2)
中国四国	5(±0)	2(±0)
九州沖縄	11(-1)	4(+1)
合計	150(±0)	50(±0)

- ・2019年度修正案より計算
- ・カッコ内は前年度からの増減数

1. 地域学生トライアスロン選手権において、通過枠内の順位に入る。

- ・所属する地域にて開催される地域学生トライアスロン選手権において通過枠内の順位に入る。

・ ロールダウンは各予選地域内で行う。

例) 東北ブロック予選においてインカレ出場権を獲得した選手が出場辞退した場合は、東北ブロック内でロールダウンが発生する。

2. シード権を獲得する

A シード

・ 2018 年度日本学生トライアスロン選手権男女各上位 6 名

・ JIU 強化指定選手

A シード申請フォーマット

宛先 jutu08_info@yahoo.co.jp

件名 インカレ A シード申請 / 氏名

記載事項 A シード内容 (前年度入賞 or JIU 強化指定選手) ・ 本年度 JIU 会員番号 (U から始まるもの)

※A シード申請は必ずインカレエントリーを始める前に申請してください。

B シード

・ JIU ジュニア強化指定 S ・ A ・ B ・ C 選手

・ JIU 認定記録会 7 級以上

※前年度から今年度のインカレの間に獲得したものに限る。

・ 理事長推薦

過去の大会成績等の客観的な理由で、インカレにおいて上位成績を残すことをでき、且つ特別な事情でインカレ出場権利を保持していないと認められる選手。

※申請がある都度審査いたしますので、該当すると思われる選手は学連のメールアドレスへご連絡ください。

B シードは地域予選通過枠を含む

・ B シード利用者の所属地域から、地域予選通過枠を削減する。

例) 関東ブロック地域予選枠 80、関東所属の B シード利用者 10 の場合、関東学生トライアスロン選手権で 70 位 (シード権獲得者除く) までの選手がインカレ出場権を獲得する。

B シードでインカレに出場する場合は 4 月 30 日までに申請を行う

・ 申請をしなかった場合はインカレに出場することはできない。

・ 申請をせずに地域予選に出場し通過した場合、インカレに出場することができる。

- ・申請をして地域予選に出場した場合、予選通過ラインを越えていなくてもインカレに出場できる。
- ・申請締切後に B シード利用者のリストを公開する。
- ・地域予選通過枠以上の B シード申請者数であった場合、地域予選通過枠は 1 となる。

B シード申請手続きフォーマット

宛先 jutu08_info@yahoo.co.jp

件名 インカレ B シード申請 / 名前

記載事項 名前、所属大学、学年、性別、獲得級、認定記録会会場

以上全てを記載し、4月30日までにメールをしてください。

※B シード申請者のインカレ出場辞退する場合のロールダウンは認めません。

3. 代替予選を利用する

■対象選手

・最終学年の大学生・最終学年の短大生・大学院生

公務員試験、大学院試験、年に一度のみの国家試験により、やむを得ず所属地域の予選会に出場できない場合。

・各地域予選当日に大会運営に関わる者

日本学生トライアスロン連合大会運営委員長の承認が必要。

所属地域の大会運営に携わらなかった場合、出場権を剥奪します。

・国体予選とインカレ地域予選の日程が重なった選手

国体予選に出場しなかった場合（DNS含む）は、出場権を剥奪します。

・その他、特別に出場を認める選手

不正など厳罰に対処するために、基本的には採用いたしませんので、上記の方法を利用してください。

■手続き（申請締切りは、参加希望大会の申込締切りの2週間前。）

- 1 以下の形式で、日本学生トライアスロン連合(jutu08_info@yahoo.co.jp)に申請。

件名： 代替予選申請 / 氏名

本文： 氏名・大学名・学年・住所・メールアドレス・申請理由・代替希望大会名

- 2 学連が代替予選を利用するのが適当であると認めた場合、送られてくる誓約書を返信。
※必要に応じて、客観的な証明書を求める場合があります。
- 3 代替予選大会の要項に従いエントリー

■通過条件

参加代替大会の予選最終通過選手のタイムを基準とする。また、2つ以上の地域予選が併催されている場合、通過ボーダーは低い方を基準とする。

ただし、代替大会が設けている予選通過人数を超える代替予選利用選手の予選通過は認めない。2つ以上の地域予選が併催の場合、通過人数の少ない方を基準とする。

Ex. 今年度共催予定の東海北陸及び近畿予選（女子）に他地域から4名の代替予選利用選手が参加した場合。まず、東海北陸予選3位と近畿予選5位のタイムの遅い方がボーダーとなる。しかし、代替予選利用者4名全員がそのボーダーをクリアした場合は、通過枠の少ない東海北陸の枠数を基準として、その4名のうち上位3名のみの予選通過となる。